

稜友

May 2014, No.233



雪壁の登攀 / 西穂高岳～奥穂高岳縦走

新潟稜友会

Home page http://homepage3.nifty.com/niigata_ryoyu/

巻頭言

今月はお休みです。

次回の巻頭言は関川さんです。よろしく！

2014年 例会年間予定

例会日	担当	例会内容	備考
1月15日(水)		公募登山の準備	
2月19日(水)		公募登山の準備	
3月19日(水)		事故発生時の対応	
4月16日(水)			
5月21日(水)			
6月18日(水)			
7月16日(水)			
8月20日(水)			
9月17日(水)			
10月15日(水)			
11月19日(水)		総会の議題協議	
12月6、7日(土・日)		6日-忘年会、7日-総会	
12月17日(水)			

2014年 今月のコラム・巻頭言・編集担当者・原稿締切日一覧

月	今月のコラム(*)	巻頭言	編集担当者	原稿締切日
1月	大島	海老名	大島	1/04(土)
2月	海老名	大島	大島	2/08(土)
3月	金子	小川	大島	3/08(土)
4月	佐藤(孝)	小杉	大島	4/05(土)
5月	設楽	鈴木	関川	5/10(土)

6月	杉田	関川	三木	6/07 (土)
7月	須藤	橋本 (寅)	関川	7/05 (土)
8月	中村	肥后 (明)	関川	8/09 (土)
9月	橋本 (聡)	丸山 (和)	三木	9/06 (土)
10月	橋本 (寅)	三木	小川	10/04 (土)
11月	丸山 (和)	大西	肥后 (明)	11/08 (土)
12月	大西	金子	大島	12/06 (土)

(*) 秘湯、レシピ、こだわりの道具、子育てなどなど、各自自由なテーマで執筆。

2014年公募体験登山が以下のように決まりました。

時期	山行内容	担当	予定候補
3月9日	雪山体験、スノーハイク	金子	川内山塊宝蔵山
4月13日	早春トレッキング	関川	八石山
5月11日	クライミング体験	海老名	杉滝岩
8月31日	沢登り体験	海老名	三国川十字峡
10月19日	紅葉トレッキング	金子	信越トレイル
11月16日	初冠雪トレッキング	金子、海老名	谷川岳天神尾根

稜友会ホームページにも掲載されていますので、内容を確認して下さい。

担当は変更される場合もあります。

山行報告

日程	山域 (形態)	メンバー
4月6日	柄沢山 (山スキー)	佐藤 (康) 他会 2人
4月13日~14日	金山・昼間山 (山スキー)	佐藤 (康) 他会 2人
4月20日	守門大岳 (山スキー)	佐藤 (康) 友人 1人
4月25日~27日	剣、立山セブススキーツアー	須藤正雄、三浦大介 (ぶなの会)、松岡祥子 (RSSA)
4月27日	焼山北面台地 (山スキー)	佐藤 (康) 他会 1人
5月1日~4日	穂高、転進杓子岳	須藤正雄、三浦大介 (ぶなの会)、松岡祥子 (RSSA)
5月3日~5日	西穂高岳~奥穂高岳縦走	海老名 誠、白倉 穂高 (新潟山岳会)

5月10日～11日	穂高・滝谷C沢滑降	須藤正雄、三浦大介、廣光佑亮（ぶなの会）、松岡祥子（RSSA）
-----------	-----------	---------------------------------

柄沢山（山スキー）

2014年4月6日 天候 雪

25000分の1「巻機山」

メンバー：佐藤（康） 他会2人

清水部落7：20～柄沢川～1500mから滑降9：50～登り返し滑降～清水部落11：30

視界もあまりないので、1500mまで詰めて樹林帯の新雪滑降を楽しんだ。

先行のボーダーのおかげで、快適な山スキーでした。

今年は柄沢山の山頂には立てなかったが、それなりに楽しんだと思う。（佐藤（康））

金山・昼闇山（山スキー）

2014年4月13日～14日 天候 快晴

25000分の1「雨飾山」「越後大野」「湯川内」

メンバー：佐藤（康） 他会2人

1日目：小谷温泉～大倉沢～金山～金山東面滑降～1400m付近 泊

2日目：～焼山の肩～南面滑降～登り返し～焼山の肩～昼闇山～焼山温泉

ルートをあまり知られたくないのと、正確な時間の記録をとらなかったのが、簡単なコースを記しておきます。

終始、お天気に恵まれ、テント場に恵まれ、パートナーに恵まれ、ルートに恵まれ…etc

今季、最高のザラメルートでした。ただ難点は、佐藤の体力がもたなかったこと……。

鍛えなおしか、装備見直しが必要な感じ。

Cho Oyu 買おうかなあ～と思っている今日この頃です。（佐藤（康））

守門大岳（山スキー）

2014年4月20日 天候 晴

25000分の1「穴沢」「守門岳」

メンバー：佐藤（康）友人1人

二分～保久礼小屋～キビタキ～大岳～P1388～P1167～保久礼小屋～二分

友人がTLTを購入し、山スキーを始めたのでお付き合い。

雪はギリギリつながっており、なんとかスキーを履いて往復できた。

自宅から一番近く、山スキーができる山。

もっと行ってもいいかな。（佐藤（康））

剣、立山セレブスキーツアー

2014年4月25日～27日

メンバー：須藤正雄、三浦大介（ぶなの会）、松岡祥子（RSSA）

4/25

扇沢＝室堂～浄土山東面滑降～雄山・山崎カール滑降～雷鳥荘

GWを1日前倒して室堂入り、いつもは雑踏のアルペンルートを静かに入山。聞こえてくる周りの人声は半分漢語、時代は変わった。

今日は雪質チェックと足慣らし、まずは浄土山東面を1本。日射が直接当たる斜面以外はクラストハードバーン。雄山に登り返し山崎カールへ。神社真下よりエントリー、上部はクラストが残っていたがすぐに快適ザラメのオープンバーン、あっという間に至福の滑りは終了。

実は山崎カール初めての私。スティーブ入門ルートとは聞いていたがいざ山頂より覗いてみると「普通の急斜面」、山頂神社直下より何の迷いもなくエントリーしたのだが他のスキーヤーは「ここから滑るの!？」といった目で見ていた。普通は少し尾根を回り込んでからエントリーするようだ。確かにこけたら止まらないし岩もある。自信過剰は禁物です。

立山初は小屋泊まりも。山小屋と言うより温泉旅館、全室個室で露天風呂もあり「セレブですな～」。もうテント泊りに戻れない危険。余計だったのは部屋の床暖、布団の上からでも暖か過ぎて寝られない贅沢。



山崎カール

4/26

雷鳥荘～別山乗越～劔沢滑降～平蔵谷～インディアンクーロアール～源次郎尾根～劔岳～大脱走
ルンゼ滑降～劔沢～別山乗越～雷鳥沢滑降～雷鳥荘

今日は劔往復のロングラン、夜明け間に出発し一路雷鳥沢を登る。別山乗越手前で夜明け、真っ白な室堂平の大平原が素晴らしい。乗越からは劔の雄姿が目の前に立ちはだかる、いつ見ても山頂からのラインはエキサイティングだ。2007年に来たときはカチカチで苦勞した劔沢の滑り、今日は意外に快適にエッジを効かせ滑ることができた。腕が上がった！・・・雪が違うだけか？

平蔵谷の登りにかかると先行5人Pが見える。他に3人Pがあり抜きつ抜かれつ山頂へ。いつものようにインディアンクーロアールはカチカチ、今日の気温では雪が緩むには時間が掛る。この時点で当初計画の大脱走ルンゼのバリエーションラインは消える。こけたら命取り、安全第一！劔山頂10時過ぎ着。コンディションは上々、1週間前に降った雪で雪面はフラット、核心部ノドにも雪崩溝は無い。先に着いたボーダーの5人Pにファーストトラックを譲り待っていたがなかなか全員が降りて行かない。地元富山のPで撮影目的もあったようだが1人を除いてこのルートは初、かなりビビりもあるようだ。気持ちよく先を譲ってくれた。

前回は1ターンずつしか降りれなかった山頂直下の50度斜面、今日は快適にターンを繰り返す。これ以上はない好条件！ トップの三浦さんはなんと一気に下まで滑り降りてしまった。スラフもほとんど無し「ウーンマンダム」、続く私と祥子さんも気持ちよく滑り降りる。目的のラインは滑れなかったが大満足。平蔵谷に降りても快適ザラメ、一気に劔沢まで滑り降りる。

2時間の登り返しで雷鳥沢の滑降。こちら雪は腐っておらず快適に滑ることができた。延べ標高差4300m、さすがに最後の雷鳥荘までの登り返しの50mはつらかった。

今晚も温泉、食事付き、セレブです。



室堂平の夜明け



劔岳山頂エントリーポイントより源次郎尾根

4/27

雷鳥荘～雄山～雄山南峰～東面ルンゼ滑降～黒部ダム＝扇沢

朝はのんびりと雄山まで登り南峰へ。雄山から黒部ダムへ滑るスキーヤーは沢山いるが南峰からは皆無である。南峰からタンボ平へダイレクトに落ちるルンゼ、意外と広いフラットバーンで下部こそデブリに苦勞するが稜線から一直線に落ちる好ルート。数年前に三浦さんが初滑降したとの事、立山では珍しく残ったライン。タンボ平から樹林をダムまで滑り降りて終了！ダムへ着くとやはり漢語が氾濫していた。(須藤)

焼山北面台地 (山スキー)

2014年4月27日 天候 快晴

25000分の1「湯川内」

メンバー：佐藤(康) 他会1人

笹倉温泉～北面台地途中 13:00～笹倉温泉 15:00前

柄沢山か焼山か迷った末に、焼山北面台地へ。
トレッキング気分な山スキーでリラックスできました。
来年も行こうかなあ～。 (佐藤(康))

穂高、転進杓子岳

2014年5月1日～4日

メンバー：須藤正雄、三浦大介(ぶなの会)、松岡祥子(RSSA)

滝谷+岳沢某ルンゼ滑降の予定で入山したが雪のコンディションと地震で杓子へ転進。山の難しさと想定外のアクシデントで穂高はあえなく撤退。代わりに杓子では会心の1本を滑ることができた。

5/1

上高地～涸沢(涸沢小屋泊り)

GW中日、割と静かな上高地から涸沢へ。涸沢小屋は景色・雰囲気こそ涸沢ヒュッテに1歩譲るがこじんまりして施設、食事は上。静かに泊まりたい人にはお勧めです。



朝の上高地

5/2

涸沢～北穂沢～北穂高岳～涸沢～上高地（小梨平テン泊）

4月29、30日に涸沢では30cm、上部では50cmの降雪があったのだろう。涸沢を囲む各沢はデブリのオンパレード、不安を抱えながら北穂沢を登る。

10時、北穂から滝谷C沢のエントリーポイントを偵察。・・・カチカチだ 滑降後A沢を登り返し、横尾谷を下り上高地までの時間を計算するとタイムリミットは12時まで。北穂小屋でコーヒーを飲みながら雪が緩むのを待つ。タイムリミット、再度エントリーポイントに行ってみるとまだ硬い、さらにガスが掛り始めている。ここまで来て敗退か・・・がっかり。

気を取り直して北穂沢を滑降。トップで祥子さん・・・スキーカットで小雪崩発生、フォールライン上には登山者が点々といたがそこまで達せず一安心。不安は残るがセカンドで三浦さんが優しく滑りこむ・・・雪崩発生、今度はなかなか止まらない。斜面を背に休んでいた登山者に直撃し200m程流される。幸い雪崩は浅くスピードも遅く事なきを得る。滑降をあきらめスキーを担いで降りていると今度は右岸より自然発生雪崩発生。さっき起こした雪崩より規模、スピードとも桁違い。何も考えずに登ってくる登山者に危うく直撃するところでした。見ていて本当に怖か

った。今日は北穂沢に入ってはいけないコンディションなのでした。

涸沢 13 時、上高地の荷物預かり所にテントを預けてある、引き取りは 17 時まで、ダッシュで上高地へ。



北穂山頂から小屋へ通じる雪の回廊

5/3

岳沢偵察＝白馬移動

今日は明日の滑降をもくろみ岳沢の偵察。2 日あれば雪は落ち着く。1 時間ほど登ると足元から突き上げる地震と山鳴り、落石。数分の間をおかず続く。気象庁は当初否定していたが明らかに焼岳の火山性群発地震。こんなところに長居は無用、白馬方面なら影響はないと判断し上高地を脱出。

5/4

猿倉～白馬大雪渓～杓子岳～杓子北東ルンゼ 1 滑降～猿倉

夜明け前、猿倉を出発し大雪渓を登る。気合を入れ過ぎました、9 時稜線直下はまだカチカチ、風を避け岩陰でツェルトをかぶり 1 時間ほど時間待ち。GW 真っただ中、双子尾根にはたくさんの人が見える。

10 時半、杓子山頂。東壁を狙うボーダーがいたがあきらめた様子。東壁の匂はすでに過ぎているよ。

山頂から 10m ほどクライムダウンしエントリーポイントへ。双子尾根の南面は日射ですでに雪は

緩んでいるが北面はまだカチカチ。北東ルンゼの入り口は 50m 下のコル。北東ルンゼの状態を確かめに双子尾根核心部をクライムダウン。トレースがあるのでロープ不要。北東ルンゼは硬いが滑降可能と判断、戻って滑降準備。山頂から北東ルンゼにスキーで入るには一旦杓子沢側を 50m 程降りトラバースしなければならない。この斜面が 50 度超。腐ってはいるがクレバスが隠れていて今一つ不安定、ここだけロープ確保しながら滑降する。北東ルンゼは硬く締まった 40~45 度の斜面が大雪山まで一気に落ちている。最後まで気が抜けない滑りが続く。下部は雪崩溝で荒れているので小尾根を右に乗越し大雪山へ。穂高敗退のうつぶんを晴らせた会心の滑りで大満足。あとは大雪山をハイスピードクルージング。GW を終える。(須藤)



杓子北東ルンゼ 1



杓子北東ルンゼ 2

西穂高岳～奥穂高岳縦走

2014年5月3～5日

メンバー： 海老名 誠、白倉 穂高(新潟山岳会)

久しぶりの北アルプスであった。穂高さんと共に穂高を縦走する、「ザ・穂高」企画です。初日は新穂高ロープウェイで山頂駅へ、当初の予定は3泊であった。荷物が重い・・・西穂山荘到着はAM9:30。当初は西穂山荘でテント泊とする事も考えたが、現地に到着するととてもそんな気分にはなれない。話し合うまでもなく、先に進むことにしてアイゼンを装着して出発しようとする、突如の大地の揺れ。地震でした・・・これはさすがにどうする？といった感じであるが、ここで停滞して様子を見る判断は出来なかった。結果、その後の余震などは無かったのであるが、懸命な判断であったとは思えない。独標までは大勢の人であった、西穂高まで来ている人もわずか。西穂高岳を過ぎると完全に山の雰囲気は変わる。稜線は狭まりナイフリッジや雪壁の登攀、クライムダウンが連続する。奥穂高までの間にはエスケープルートは1箇所だけ。5月連休でも同日行動していたのは他に1パーティーのみであった。昼を過ぎると視界も悪くなってきた、荷物が重く足に十分に力が入らなくなってきた、滑落したら助からない場所も多々あるので、適当な場所があれば泊ることしようと相談。間ノ岳の手前のコルにてテントを設営。GWの北アルプスとは思えない静かな場所であった。夕方の稜線からの眺めは絶景である。

2日目は5時に行動開始するもそう寒くはなく、程よく雪もしまっており快適な登攀であった。雪壁にバイルが気持ちよく突き刺さる。間ノ岳、天狗の頭、ジャンダルムを越え奥穂高の山頂へ。ここまで来ると人も大勢である。穂高岳山荘前でテント設営。翌日は天候が荒れるとのこと。当初は北穂高もしくは南岳まで足を伸ばす計画であったが、白出沢から下山する事を決定。2日分の食料での夕食となる。3日目は朝から吹雪。テント撤収も大変であった。白出沢はデブリの連続であったが谷は風も弱く苦労はなかった。林道を歩く頃には小雨となり、車に到着すると本格的な雨となる。満足な山旅であった。(海老名 誠)



間ノ岳のトラバース



間ノ岳



ジャンダルム



奥穂高山頂

穂高・滝谷C沢滑降

2014年5月10日・11日

メンバー：須藤正雄、三浦大介、廣光佑亮（ぶなの会）、松岡祥子（RSSA）

GWのリベンジで再び穂高・滝谷へ。

5/10

新穂高温泉～白出沢～涸沢（涸沢ヒュッテ泊り）

5/11

涸沢～北穂沢～滝谷C沢滑降～E沢登り返し～荷継沢滑降～白出沢～新穂高温泉

白出沢から穂高岳山荘までの登山道は北アルプスらしからぬ整備状況。林道からの樹林帯、大滝の巻きには赤布、道標等はほとんど無し。雪がかぶっているとどこがルートだかさっぱり判らず、手抜きがひどい。

ゆっくりの出発のおかげで白出沢は雪が緩み稜線直下までスキーが使えた。その代わりに稜線着15時、涸沢側の斜面はすでに日が陰りモナカクラストが始まっていた。前穂を正面に素晴らしいロケーションのなか慎重にエッジ操作で涸沢まで滑りこむ。

5月5日の降雪で涸沢のデブリはリセットされ全面フラットバーン。明日に期待が掛る。

朝はヒュッテでのんびり朝食、北穂へ向かう。今日は気温が上がる予報、すでに緩み始めた北穂沢を詰めると稜線直下で急に雪が硬くなってくる。いやな予感。エントリーポイントまで行ってみるとやはりカチカチ。先週より硬いではないか！ 降雪時の強風で芯まで締まった雪、さらに

西面ということもあり日射による緩みが遅い。出戻るにしてもリミットは12時、さんざん悩んだが待ってみることに。北穂小屋でカップラーメンをすすり時を過ごす。

12時、エントリーポイントで再度雪質チェック、表面の数cm緩んできている。ギリギリ滑降可能な状態。下を覗くとノドの先はノールで見えない。ミスは絶対許されない。ここで松岡、廣光は滑降を断念、私と三浦さんで決行することにする。2人には残念だが出戻りしてもらおう。白出沢大滝上で無事待ち合わせを約束し別れる。

いざC沢へドロップ。初めて劔の大脱走ルンゼを滑った時以来の緊張が走る。(後悔に近い緊張感)ノドを通過し下が見えるまで1ターンずつ慎重に高度を落としていく。表面数センチは緩み軽いスラフが出るほどではあるが中はアイスバーンが残っている。こけたらジ・エンド。ノドを過ぎるとようやく下の状況が判り命拾いの心境。下までフラットバーン(といっても45度超ではある)、右俣合流後は傾斜も落ちこけても致命傷にはならない。やっと思い切ってターンができる。予想外の雪質と滝谷ならではのロケーションに酔いしれながら滑り降りていく。来てよかった。

A沢合流点の100mほど上流で左岸尾根が低くなっておりD沢へ乗越すとF沢出合。予定はF沢登り返しであったが少しでも標高差の少ないE沢を登ることにする。スキーを背負い約400mで枝尾根上のコル、少しトラバースすると涸沢岳西尾根・蒲田富士手前のコルに到着。あとは広くフラットな荷継沢を白出沢まで降るだけ。快適ザラメを飛ばして終了!。出合に着くと出戻りの2人が白出沢を滑り降りてくることが見える。

無事合流。北穂沢、白出沢も快適に滑れたとの事、良かった良かった。あとはスキーを担いで大滝を巻き、デブリで埋まった白出沢を降りるだけ。新穂高温泉に着くころには夕陽が稜線だけを照らしていた。(須藤)



クラストし始めた斜面を涸沢に滑り込む



ドームを目の前に滝谷C沢へドロップ



右俣合流後の滝谷ならではのロケーション

今月のコラム

田んぼを始めて 10 年くらいになる。ほんの僅かな土地を泥だらけになって耕して何が良いんだろうと考えた。

いつまで経っても失敗ばかり。草ぼうぼうになったり、土にはまった機械を出せなくなったり、機械を壊したり、、、ちっともうまくできないけど、自分の食い扶持は自分で何とかしている

という自負だろうか。

これは野菜よりも強い思いになっている。日本の農家は今危機にある。私のやっている田んぼを取り巻く情勢も悪くなるばかりで、明るい兆しは何もない。でも、できる限りはその少しばかりの土地を何とか耕しながら、そこからこれからの自分の生活を支える部分を作っていきたいと思っています。（設楽）

● 会費について

☆会員 年会費 9,000 円（夫婦会員は 2 人で 16,000）
保険料 5,000 円～ 月割可（詳細は金子まで）

☆会報会員 年会費 1,000 円（月報の電子配信会員）

- ・ 1 月末までに下記講座への振込をお願いいたします。

郵便局 記号：11220 番号：23683431 口座名：新潟稜友会

- ・ 不明な点は丸山亮子まで

● 会員だけの掲示板が出来ました

山行計画、下山報告、住所変更、アドレス変更などに利用してください。

会のホームページの掲示板ページからもログインできるようになっています。

会員専用掲示板は一般公開されません。

公開してもかまわない記事は今まで同様掲示板に投稿してください。

アドレス：<http://8421.teacup.com/msudou/bbs>

携帯電話(iモードなど)からも閲覧、書込み可能です。

ID・パスワードは、知っている会員から聞いてください。

●万代市民会館集会室利用方法

最初に来館した人は、4階ロッカー室の稜友会の棚から、当日の日付が書いてある利用許可書1枚を持って1階受付に提出し、必要事項に記入の上、部屋のカギを受け取って会場に入って下さい。

●必ず守ってください

山行計画書、下山報告共に
金子・海老名
まで、FAX・メール・携帯電話等で連絡の事

次回原稿締め切り 6月7日(土) 担当:三木 まで

●原稿形式

形態を()で

日付は全角、西暦で

地図・地区もなるべくつけてください

鳥海山湯ノ台口(山スキー)

2000年6月3日(土)~4日(日) 2万5千円「湯ノ台」「鳥海山」

メンバー L.

3日 7:00 湯ノ台口 10:00 滝ノ沢小屋 …横書きで

本文

★(橋本寅信)…カッコでフルネーム

★表紙に写真を載せて欲しい人は月報担当者にネガ(または写真)を送るか、電子データとしてメールで送って下さい。表紙以外で写真を載せて欲しい人は担当者に渡して下さい。

テキスト形式が基本ですが、ワードで原稿を送ってもOKです。FDの場合は、プリントアウトしたものを同封して下さい。

